

2020年3月期(FY2019)
第3四半期
連結決算報告



大幸薬品

2020年2月
大幸薬品株式会社



■ 売上高・利益とも3Q過去最高

- ・売上高 : 2,904百万円増(40%増)
- ・営業利益 : 1,305百万円増(68%増)
- ・四半期純利益 : 840百万円増(65%増)

■ 感染管理事業が大幅増収(89%増)

■ 通期業績予想の上方修正、特別配当+10円

■ 株式分割を発表

連結經營成績

連結経営成績サマリー

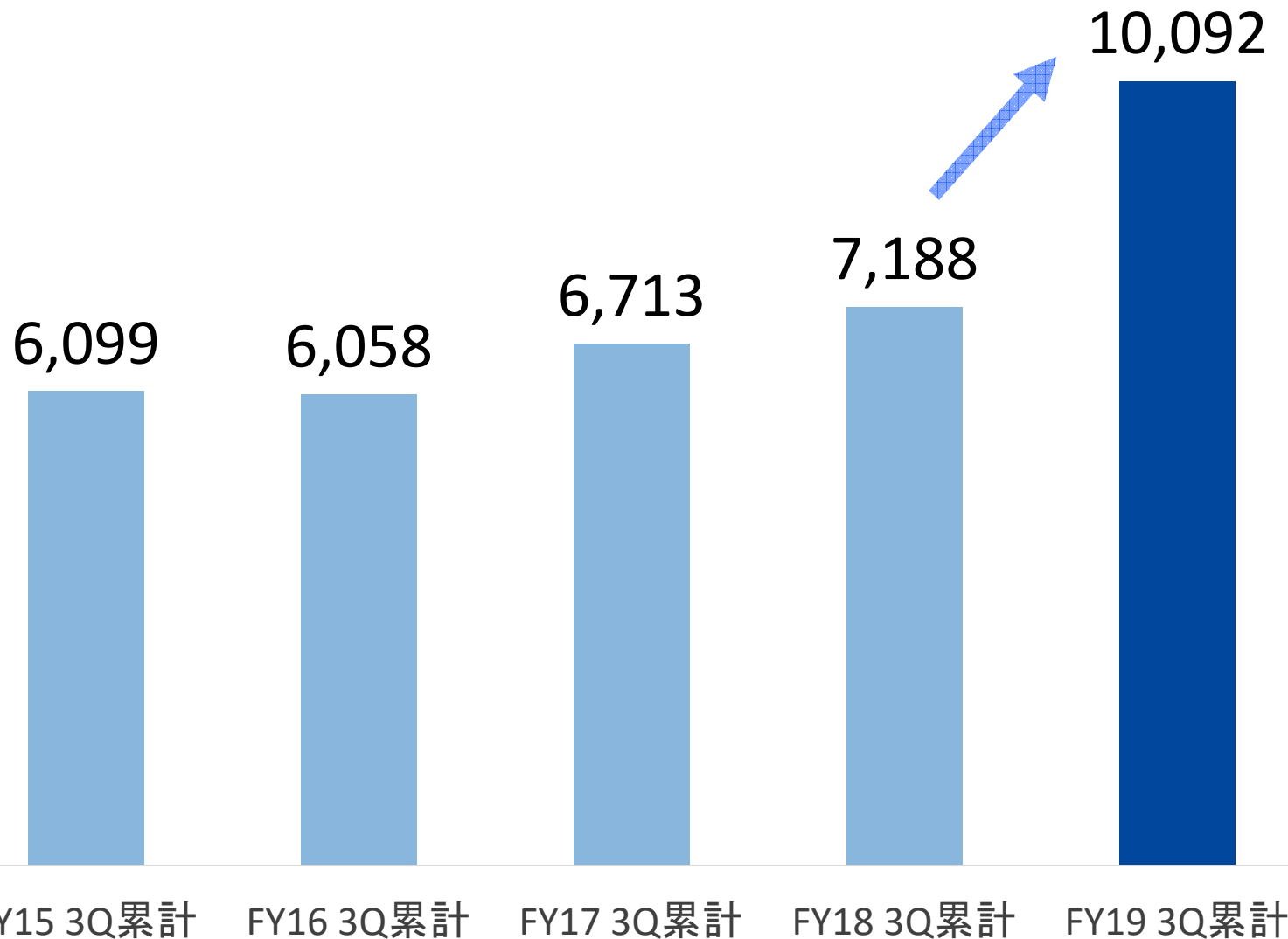
➤ 売上高・利益とも過去最高

➤ 感染管理事業の大幅増収で、販管費等増加を吸収し、大幅増益

[百万円]	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	7,188	10,092	2,904	40.4%	医薬品)対前年同期比42百万円増 感染管理)対前年同期比2,868百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	2,004 27.9%	2,634 26.1%	629	31.4%	
売上総利益 (売上高比率)	5,184 72.1%	7,458 73.9%	2,274	43.9%	増収影響等により利益増加
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	3,286 45.7%	4,255 42.2%	968	29.5%	販売費の増加等
営業利益 (売上高比率)	1,897 26.4%	3,203 31.7%	1,305	68.8%	
経常利益 (売上高比率)	1,806 25.1%	3,067 30.4%	1,260	69.8%	
四半期純利益 (売上高比率)	1,286 17.9%	2,126 21.1%	840	65.3%	

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

[百万円]



売上高 過去最高

前年同期比

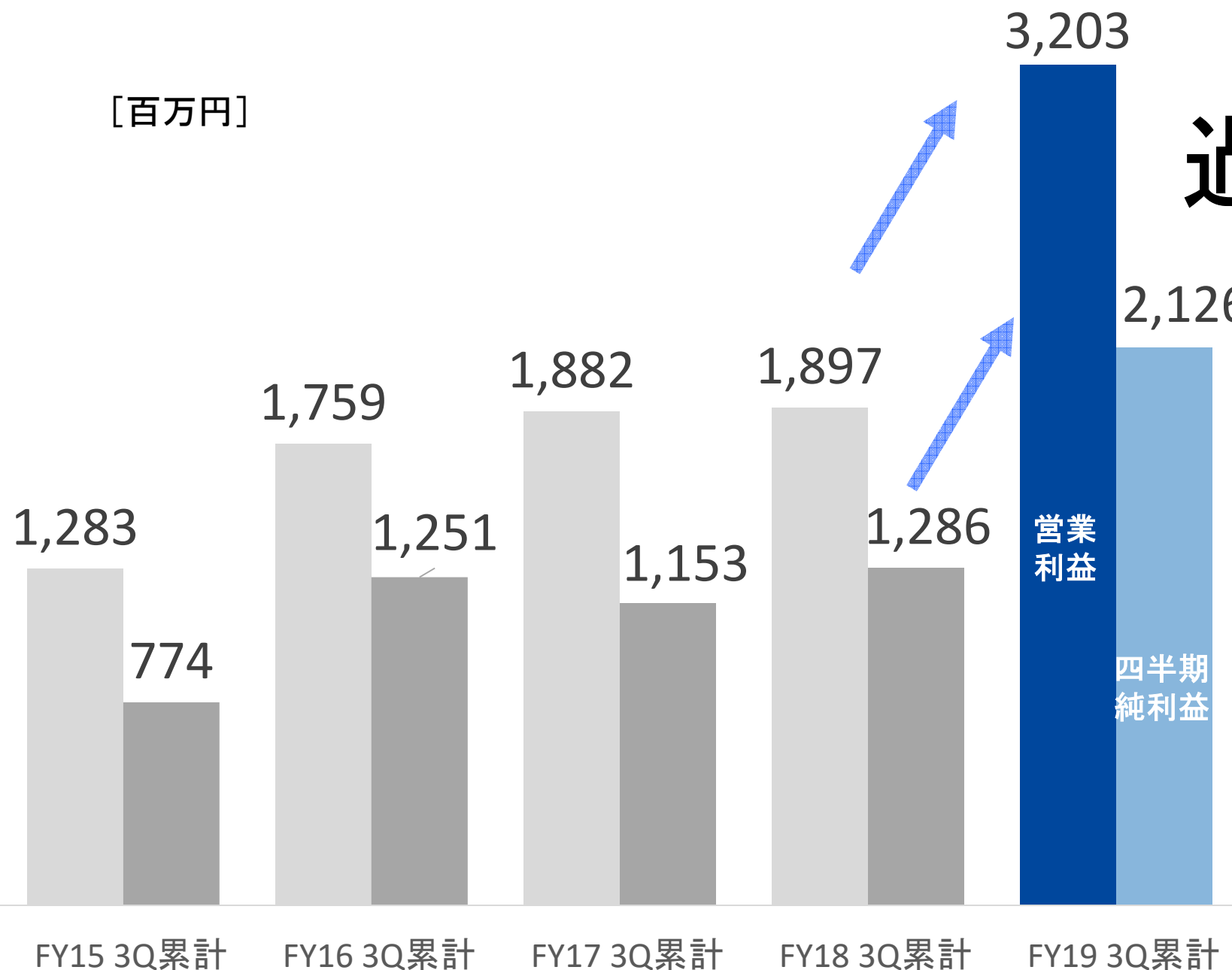
40%増

連結營業利益・四半期純利益推移

利益 過去最高

営業利益
前年同期比
68%増

[百万円]



販売費及び一般管理費

➤ マーケティング強化に伴い、販売費等が増加

[百万円]	FY18 3Q累計	売上高 比率	FY19 3Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,311	18.2%	1,826	18.1%	514	39.2%	
広告宣伝費	563	7.8%	823	8.2%	259	46.0%	医薬品)35百万円増 感染管理)222百万円増
販売促進費	579	8.1%	757	7.5%	177	30.6%	医薬品)3百万円増 感染管理)173百万円増
運送費	168	2.3%	245	2.4%	77	46.2%	在庫保管料増加等
人件費	1,039	14.5%	1,274	12.6%	235	22.7%	業績連動賞与の計上等
その他経費	936	13.0%	1,154	11.4%	218	23.3%	
研究開発費	280	3.9%	323	3.2%	42	15.2%	
支払手数料	157	2.2%	251	2.5%	93	59.3%	
計	3,286	45.7%	4,255	42.2%	968	29.5%	

連結財政状態

[百万円]	FY18 期末	FY19 3Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	12,571	15,217	2,645	21.0%	
現金及び預金	7,225	5,837	△1,387	△19.2%	※連結キャッシュ・フロー状況参照
売上債権	3,645	6,961	3,315	91.0%	売上高が3Q(10-12月)に偏重
たな卸資産	1,540	2,213	673	43.7%	感染管理)最需要期に向け在庫増加
固定資産	9,028	8,890	△137	△1.5%	
資産合計	21,600	24,108	2,508	11.6%	
流動負債	2,826	4,071	1,245	44.1%	未払法人税等の増加
仕入債務	514	1,283	769	149.6%	感染管理製品関連の仕入増加
固定負債	1,288	1,328	39	3.1%	
純資産	17,485	18,708	1,222	7.0%	四半期純利益の計上等
負債純資産合計	21,600	24,108	2,508	11.6%	
自己資本比率	80.8%	77.5%			

連結キャッシュ・フロー状況

[百万円]	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	主な要因(FY19)	
営業CF	306	△271	EBITDA 仕入債務の増加 たな卸資産の増加 法人税等の支払 売上債権の増加	3,569百万円 780百万円 △673百万円 △724百万円 △3,325百万円
投資CF	△1,170	△172		
財務CF	△317	△874	自己株式取得に関連する支出 配当	△540百万円 △483百万円
現金・同等物換算差額	△1	△36		
キャッシュ増減(※1)	△1,183	△1,354		
キャッシュ期末残高	5,364	5,837		
EBITDA(※2)	2,232	3,569	営業利益 減価償却費	3,203百万円 366百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: マーケティング強化に伴い販売費等増加
- 感染管理事業: 国内海外向けとも増収、販売費等の増加を吸収し増益

[百万円]	売上高			セグメント損益		
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減率	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減率
医薬品事業 (利益率)	3,968	4,010	1.1%	1,660 41.8%	1,619 40.4%	△2.5%
感染管理事業 (利益率)	3,207	6,076	89.4%	1,036 32.3%	2,559 42.1%	146.9%
その他事業 (利益率)	12	5	△50.9%	△23 -	△21 -	-
全社(※)	-	-	-	△776	△954	-
連結合計 (利益率)	7,188	10,092	40.4%	1,897 26.4%	3,203 31.7%	68.8%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 「セイロガン糖衣A」等が堅調に推移
- 「ピシヤット下痢止めOD錠」のリニューアルも寄与

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減	増減率
正露丸	1,338	1,295	△43	△3.3%
セイロガン糖衣A	1,543	1,612	68	4.4%
正露丸クイックC	58	60	2	4.9%
その他(※)	66	95	29	43.8%
計	3,007	3,063	56	1.9%

(※) 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等

当社の国内止瀉薬市場シェア

[店頭小売価格ベース]	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減
市場シェア	48.2%	47.6%	△0.6P



正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ピシヤット下痢止めOD錠

出所：(株)インテージ

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 香港市場向け等が前年同期を上回って推移
- 中国市場向けは通期では計画通りの着地見込

地域別売上高

[百万円]

	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減	増減率
中国	291	120	△171	△58.7%
香港	458	595	137	29.9%
台湾	159	172	12	7.6%
その他(※)	50	58	7	15.2%
計	961	946	△14	△1.5%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 国内一般用、国内業務用とも前年同期を大幅に上回って推移
- 海外：台湾市場向け中心に増加

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	増減	増減率
クレベリン(※1)	3,207	5,738	2,530	78.9%
クレベ&アンド(※2)	—	338	338	—
計	3,207	6,076	2,868	89.4%



Akihiro Yoshida

クレベリン 置き型

クレベリン スプレー

(※1)クレベリン 置き型、クレベリン スティック、クレベリンカートリッジ(車両用)

低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

(※2)ハンドスプレー、ハンドジェル、ウイルス・菌除去スプレー(キッチン用)

対象顧客別売上高

[百万円]

	FY18 3Q累計	構成比	FY19 3Q累計	構成比	増減	増減率
国内：一般用	2,413	75.3%	4,872	80.2%	2,458	101.9%
国内：業務用	724	22.6%	1,072	17.6%	348	48.1%
海外	69	2.2%	131	2.2%	61	88.4%
計	3,207	100.0%	6,076	100.0%	2,868	89.4%



DENSO

クレベリンカートリッジ
(車両用)

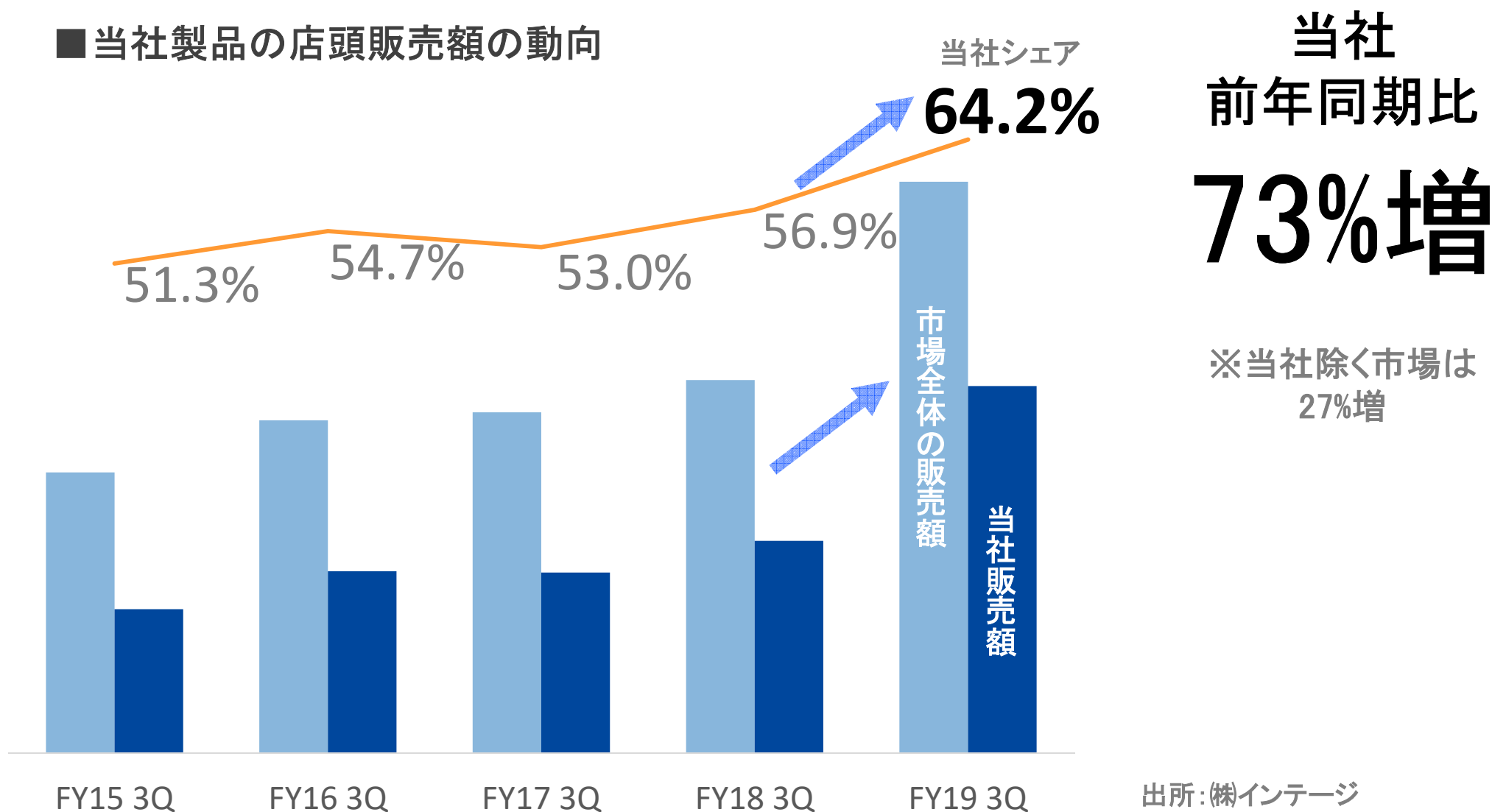
クレベリン スティック

Akihiro Yoshida

感染管理事業(一般用製品)の店頭販売動向

- 3Qにおける当社製品シェアは、対前年同期比7.3P増の64.2%
- 当社の成長(73%増)が市場成長を牽引(当社除く市場は27%増)
- 前期より開始したマーケティング戦略が奏功しブランド力UP

■ 当社製品の店頭販売額の動向



通期業績予想の上方修正及び増配
株式分割
台湾子会社の設立

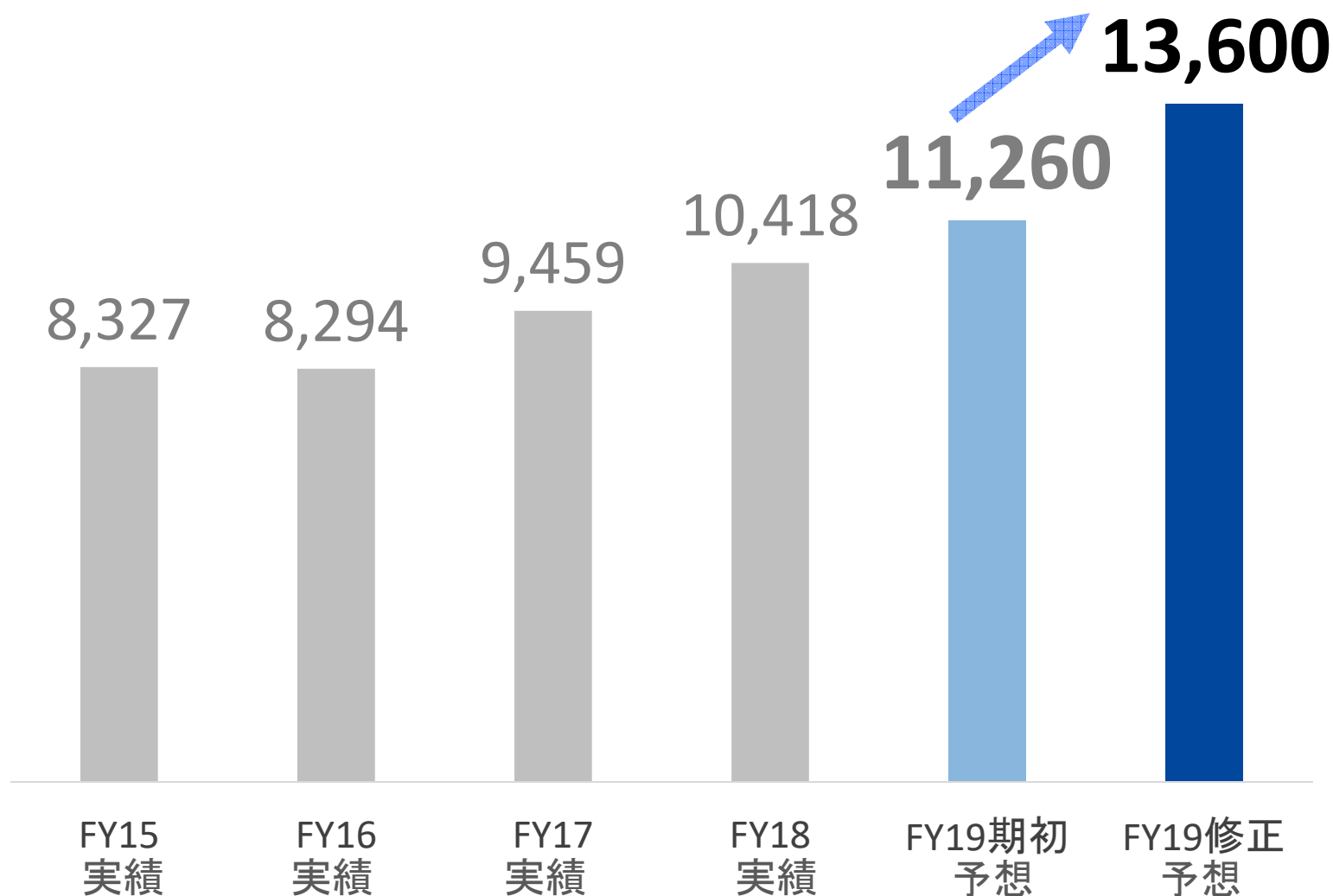
FY19通期業績予想の上方修正

- 売上高・利益とも過去最高
- マーケティング強化によるブランド力UP、インフルエンザ等感染症流行
- これらの影響で感染管理事業が大幅に増収

[百万円]	期初予想 5/14発表	修正予想 2/10発表	増減	増減率	増減要因等
売上高	11,260	13,600	2,340	20.8%	
医薬品	5,690	5,640	△49	△0.9%	
感染管理	5,560	7,949	2,389	43.0%	マーケティング強化によるブランド力UP インフルエンザ等の感染症流行
その他	10	10	0	4.4%	
営業利益 (売上高比率)	2,200 19.5%	3,000 22.1%	800	36.4%	
経常利益 (売上高比率)	1,950 17.3%	2,750 20.2%	800	41.0%	
当期純利益 (売上高比率)	1,420 12.6%	1,850 13.6%	430	30.3%	

連結売上高推移(通期)

[百万円]



売上高 過去最高

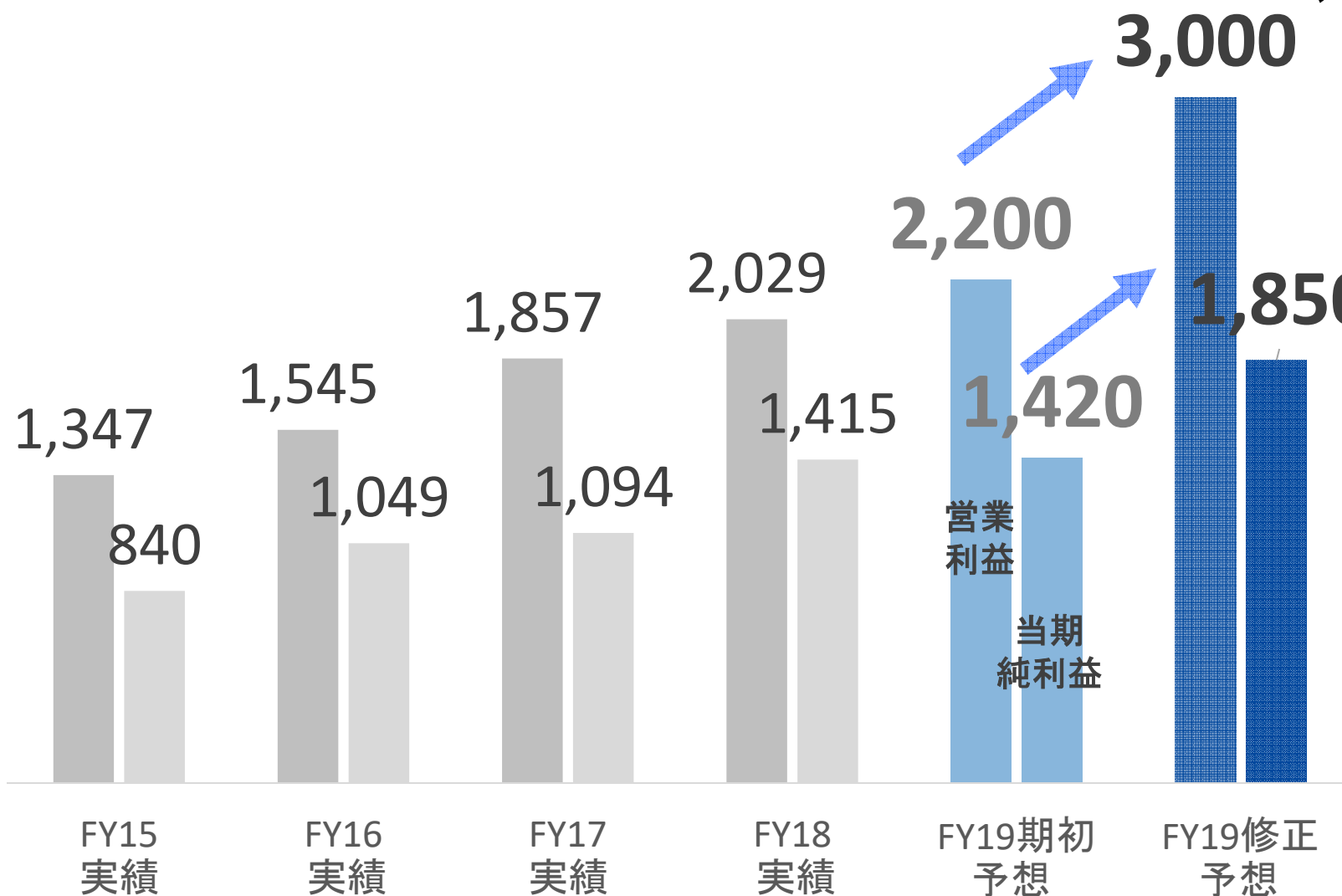
期初予想比

20%増

連結営業利益・当期純利益推移

利益 過去最高

[百万円]

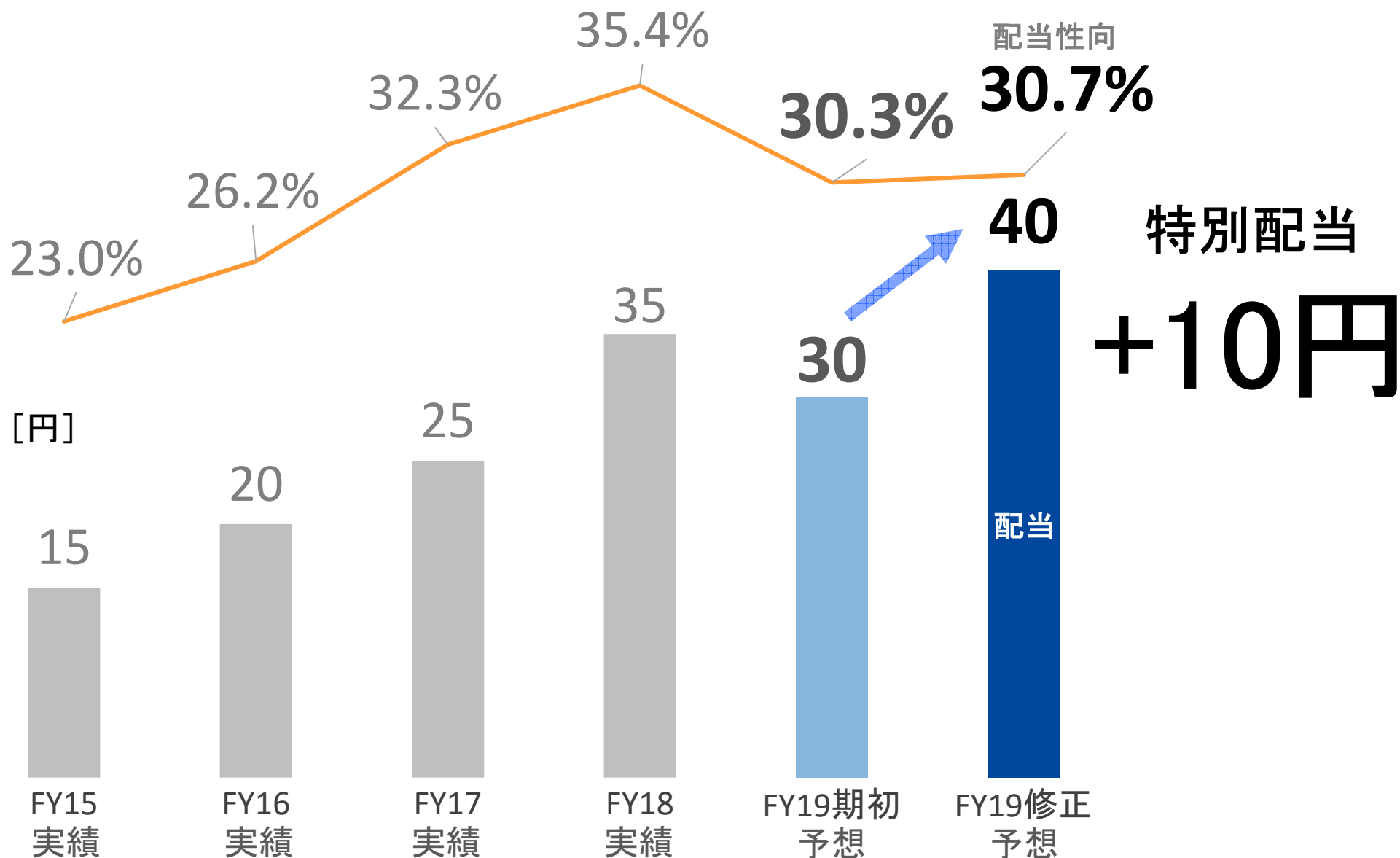


営業利益
期初予想比

36%増

増配

期初予想：配当30円 ⇒ 修正予想：配当40円（普通30円+特別10円）



株式分割(2020年3月31日基準日、1:3の分割)

■目的

- 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ
- 投資家の皆様がより投資しやすい環境の整備
- 株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図る

分 割 方 法	2020年3月31日を基準日とし 普通株式1株につき3株の割合で分割
株式分割前の発行済株式総数	14,434,500株
今回の分割により増加する株式数	28,869,000株
株式分割後の発行済株式総数	43,303,500株
株式分割後の発行可能株式総数	153,072,000株
基 準 日 公 告 日	2020年3月16日
基 準 日	2020年3月31日
効 力 発 生 日	2020年4月1日

台湾子会社の設立

■目的

- 感染管理事業のWEB販売が台湾で急成長している
- さらなる販売強化、当該チャネルの知見を蓄積し
- 台湾を拠点に将来的には近隣諸国への展開を想定

(1)	名 称	台湾大幸薬品股份有限公司
(2)	所 在 地	台湾台北市
(3)	代 表 者	董事長 山下 充洋
(4)	事 業 内 容	医薬品事業、感染管理事業
(5)	資 本 金	70百万台湾ドル(約259百万円)
(6)	設 立 年 月 日	2020年4月(予定)
(7)	出 資 比 率	当社100%

(注) 資本金の円貨への換算は、1台湾ドル=3.7円を使用



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。